2007年(H19年)　文化庁 協 力

1月15日

「日本の歌百選」結果発表(文化庁) 赤どんぼ第1位

「赤とんぼ」は、あなたの好きな歌等で常に日本一
～名曲「赤とんぼ」は日本人の心のふるさと～

昭和五十八年、NHKが募集した「日本の歌・ふるさとの歌」に全国六十五万通もの応募の中から「赤とんぼ」が第一位に選ばれ、ついで平成十五年七月の「童謡の日」の調査でも「愛唱歌」の第一位に選ばれている。また同年十二月の読売新聞の「あなたのもっとも親しみのある歌」にも八十七%で第1位に輝いている。

読売新聞抜粋

茅ヶ崎市市民活動団体
「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会　06.9.25

あなたの好きな歌日本一に選ばれている「赤とんぼ」は昭和2年湘南の茅ヶ崎で山田耕筰が作曲しました。
このたび文化庁と日本PTA全国協議会主催で『親子で歌いつごう日本の歌百選』を募集しています。
湘南の風がはぐくんだ名曲「赤とんぼ」を後世に残し音楽文化として選ばれますよう、ご協力を頂ければ幸いと存じます。
どうぞよろしくお願いいたします。

文化庁主催につき
各小・中学校に配布し
募集依頼しました。

2007年(平成19年)　毎日新聞　1月15日　月曜日

「赤とんぼ」「世界に一つだけの花」
歌いつぐ「日本の歌百選」

「親から子、子から孫へ～親子で歌いつごう 日本の歌百選」(文化庁など主催)の選考委員会は14日、親子で歌うのにふさわしい101曲の童謡や歌謡曲などを発表した。選考は今回が初めてで、一般から募った6671通895曲から選出された。美しい日本語の歌を継承し世代間をつなぐことを目的にしている。101曲となったのは絞りきれなかったため。

百選には、「赤とんぼ」(作詞・三木露風、作曲・山田耕筰)、「しゃぼん玉」(作詞・野口雨情、作曲・中山晋平)など童謡のほか、SMAPの「世界に一つだけの花」(作詞作曲・槇原敬之)、山口百恵の「秋桜(コスモス)」(作詞作曲・さだまさし)などの歌謡曲も選ばれた。

曲にまつわるエピソードも同時に募集され、「浜辺の歌」(作詞・林古渓、作曲・成田為三)をピアノで弾いた時、涙を流した父を題材にした平松れい子さん(東京都目黒区)のエピソードが大賞に選ばれた。【高山純二】

2007年(平成19年)1月15日(月曜日)　読売新聞

日本の歌百選
童謡からSMAPまで
文化庁

文化庁は14日、世代を超えて歌い継ぎたい歌として、国民から募集した「日本の歌百選」の選考結果を発表した。

選ばれたのは101曲。多くは、「赤とんぼ」「しゃぼん玉」「荒城の月」「春の小川」などの童謡や唱歌で、古くから親しまれている曲が目立つ。歌謡曲では、美空ひばりさんの「川の流れのように」、山口百恵さんの「秋桜」のほか、SMAPの「世界に一つだけの花」、鳳川りみさんが歌う「涙そうそう」など最近の曲も選ばれた。

「日本の歌百選」は、少年犯罪の報道を見るたびに、世代間の断絶や人間関係の希薄化などの風潮を心配していた河合隼雄・同庁長官(休職中)が発案。同庁は楽譜付きの冊子にまとめ、学校現場などで活用してもらうことにしている。

(同名の「花」は一方が滝廉太郎作曲、他方は渡納昌吉作曲)

日本の歌百選　(五十音順)

仰げば尊し
赤い靴
赤とんぼ
朝はどこから
あの町この町
あめふり
雨降りお月さん
あめふりくまのこ
いい日旅立ち
いつでも夢を
犬のおまわりさん
上を向いて歩こう
海
うれしいひなまつり
江戸子守歌
おうま
大きな栗の木の下で
大きな古時計
おかあさん
お正月
おはなしゆびさん
朧(おぼろ)月夜
思い出のアルバム
おもちゃのチャチャチャ
かあさんの歌
風
肩たたき
かもめの水兵さん
からたちの花
川の流れのように
汽車
汽車ポッポ
今日の日はさようなら
靴が鳴る
こいのぼり
高校三年生
荒城の月
秋桜
この道
こんにちは赤ちゃん
さくらの貝の歌
ささのはさらさら
サッちゃん
里の秋
幸せなら手をたたこう
叱(しか)られて
四季の歌
時代
しゃぼん玉
ずいずいずっころばし
スキー
背くらべ
世界に一つだけの花
ぞうさん
早春賦
たきび
ちいさい秋みつけた
茶摘み
チューリップ
月の沙(さ)漠
翼をください
手のひらを太陽に
通りゃんせ
どこかで春が
ドレミの歌
どんぐりころころ
とんぼのめがね
ないしょ話
涙そうそう
夏の思い出
夏は来ぬ
七つの子
花
花
花の街
埴生(はにゅう)の宿
浜千鳥
浜辺の歌
春が来た
春の小川
ふじの山
冬景色
冬の星座
故郷
蛍の光
牧場の朝
見上げてごらん夜の星を
みかんの花咲く丘
虫のこえ
むすんでひらいて
村祭
めだかの学校
もみじ
椰子(やし)の実
夕日
夕やけこやけ
雪
揺籃(ゆりかご)のうた
旅愁
リンゴの唄(うた)
われは海の子